



報道発表資料の配付日時 9月15日(水) 11時00分

発表項目 (行事名)	令和3年北海道功労賞受賞者の決定について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○内容 令和3年北海道功労賞の受賞者が決定しましたので、発表します。</p> <p>○配付資料 (1)令和3年北海道功労賞の概要 (2)受賞者名簿 (3)受賞者の写真 (4)既受賞者一覧(過去5年)</p> <p>※ 受賞者の写真データが必要な場合は、提供いたしますので、人事課サービス制度係にお問い合わせください。</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	○ 道として最高位の表彰である北海道功労賞について、広く道民の皆様にお知らせしたいと考えていますので、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	総務部人事局人事課 サービス制度係 (担当者 山本) TEL ダイヤルイン 011-204-5027 内線 22-156		
-------------	--	--	--

令和3年北海道功労賞の概要

1 北海道功労賞の趣旨と制定の経緯

本道の経済・社会・文化等の発展に貢献し、その功労が特に顕著な個人又は団体に贈呈する賞で、知事が行う表彰の中で最高位のものであります。

昭和44年に北海道開発功労賞として制定（平成10年に賞の名称を北海道功労賞と改称）して以来、令和3年（2021年）で第53回目となります。

これまで、功労賞166名、15団体が受賞しています。

2 表彰の内容

(1) 受賞者

5名（別添名簿のとおり）

(2) 副賞等

肖像写真（額入り）及び受賞記念バッジなど（未定）

3 贈呈式の日時等

- ・日 時 令和3年11月頃（予定）
- ・場 所 札幌市内

※新型コロナウイルス感染症の状況により変更する場合があります。

令和3年 北海道功労賞受賞者名簿

氏名	生年月日 <年齢>	主な役職等	功績名	功績の概要
<p>さわだ ゆたか 澤田 豊</p>	<p>昭和16年1月7日 <80歳></p>	<p>現 学校法人北斗文化学園理事長 現 社団法人北斗文化学園福祉会理事長 元 公益社団法人北海道私立幼稚園協会会長(現 顧問) 現 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会会長</p>	<p>私学教育の 振興と地域 社会の福祉 への貢献</p>	<p>約50年にわたり幼児教育や専門教育の充実に務めるとともに、私学関係団体の役員や教育関係の公職を務め、幼稚園経営の安定化や教職員の資質向上に努めた。 介護福祉分野では、介護福祉人材のなり手が減少する中、外国人介護人材の定着に尽力するとともに、自立支援介護の普及や地域開放研修事業として訪問介護士養成講座を開講するなど、地域の介護力向上にも大きく貢献している。</p>
<p>あべ てんえい (本名 のりひで) 阿部 典英</p>	<p>昭和14年12月10日 <81歳></p>	<p>現 北海道文化財団副理事長 現 札幌市芸術文化財団理事 元 北海道文化団体協議会会長 (現：名誉会長) 元 札幌文化団体協議会会長 (現：名誉会長) 元 北海道女子短期大学工芸美術学科教授</p>	<p>現代美術の 発展と芸術 文化の振興</p>	<p>本道の現代美術の第一人者として、多様な素材を用いた彫刻や造形などのユニークな立体・平面作品を発表するとともに、数多くの企画展に出品し高い評価を得ている。 北海道文化団体協議会会長・札幌文化団体協議会会長として、道内の地域文化の振興に尽力するとともに、北海道女子短期大学等で長く芸術教育に携わり、後進の育成にも大きく貢献をした。</p>
<p>なかた かずこ 中田 和子</p>	<p>昭和11年5月25日 <85歳></p>	<p>元 北海道女性団体連絡協議会会長 元 公益財団法人北海道女性協合理事長 元 全国地域婦人団体連絡協議会副会長 元 公益財団法人北海道生涯学習協会副会長</p>	<p>男女平等参 画社会の形 成に貢献</p>	<p>32年の長きにわたり北海道女性団体連絡協議会に携わり、平成11年からは会長として、卓越した実行力とユーモアあふれる人柄で会員の支持を得るとともに、協議会の活動を牽引した。 全国的な婦人団体の役員として、「子育て支援」や「環境問題」など幅広い分野で活動を行い、一貫して女性の社会的地位の向上と男女平等参画社会の形成に尽力した。</p>

氏名	生年月日 <年齢>	主な役職等	功績名	功績の概要
さとう あつし 佐藤 厚	昭和 20 年 7 月 28 日 <76 歳>	現 ㈱ニッコー 取締役会長 元 ㈱ニッコー 代表取締役	道内ものづくり産業の振興	昭和 52 年に創業した株式会社ニッコーにおいて、水産業や農業などの分野で顧客の課題解決につながる各種加工機械の開発・製造に取り組んだ。 同社が開発した装置は、地域企業の人手不足の解決、付加価値の向上に資するものであり、道内ものづくり産業の振興のみならず、地域産業や経済の発展に多大な貢献をした。
いとう けんいち 伊藤 獻一	昭和 14 年 10 月 14 日 <81 歳>	現 北海道大学名誉教授 元 日本燃焼学会会長 前 NPO 法人北海道宇宙科学技術創成センター理事長 現 同 特任理事	宇宙開発・宇宙関連技術の産業化に貢献	燃焼工学や宇宙環境応用工学の分野において、顕著な業績を上げられており、特に微小重力場における火災安全性の研究に関しては、国際的にも高く評価されている。 道内の研究者や研究施設等のネットワーク化、小型ロケットや宇宙関連技術の産業化・実用化を目的とした「北海道宇宙科学技術創成センター」の立ち上げにも尽力した。

北海道功労賞受賞者一覧

(平成28年～令和2年)

	氏名(年齢)	受賞の内容
平成28年 (第48回)	喜田 宏 (72)	インフルエンザウイルスの生態解明と対策への貢献
	嶋宮 勤 (73)	食文化振興への貢献
	高向 巖 (77)	地域経済の発展と社会資本整備推進への貢献
	【特別賞】 伊藤 義郎 (89)	産業経済の振興への貢献をはじめ多分野における社会貢献
平成29年 (第49回)	佐伯 浩 (76)	港湾工学・海洋開発の発展への貢献
	手島 圭三郎 (82)	芸術文化の振興と地域文化活動の推進
	似鳥 昭雄 (73)	小売商業の振興と文化・芸術の振興への貢献
平成30年 (第50回)	岡田 淳子 (86)	学術振興と男女平等参画社会づくりの推進への貢献
	長瀬 清 (80)	地域医療の推進と緊急医療体制強化への貢献
	西村 紘一 (74)	シンガポールにおける北海道の認知度向上・本道への誘客推進
	藤戸 竹喜 (83)	芸術文化振興・アイヌ文化振興への貢献
令和元年 (第51回)	小原 道城 (80)	芸術文化振興への貢献
	故 鳥村 彰禧 (92)	本道におけるワイン産業振興への貢献
	(公財) 北海道盲導犬協会	社会福祉の推進への貢献
令和2年 (第52回)	今井 浩三 (72)	がん研究への貢献と医学教育の振興
	小砂 憲一 (73)	バイオ産業の発展と地域経済の発展への貢献
	水越 武 (82)	写真文化の発展への貢献
	貝澤 雪子 (79)	アイヌ文化振興への貢献

※ 年齢は受賞時現在の年齢